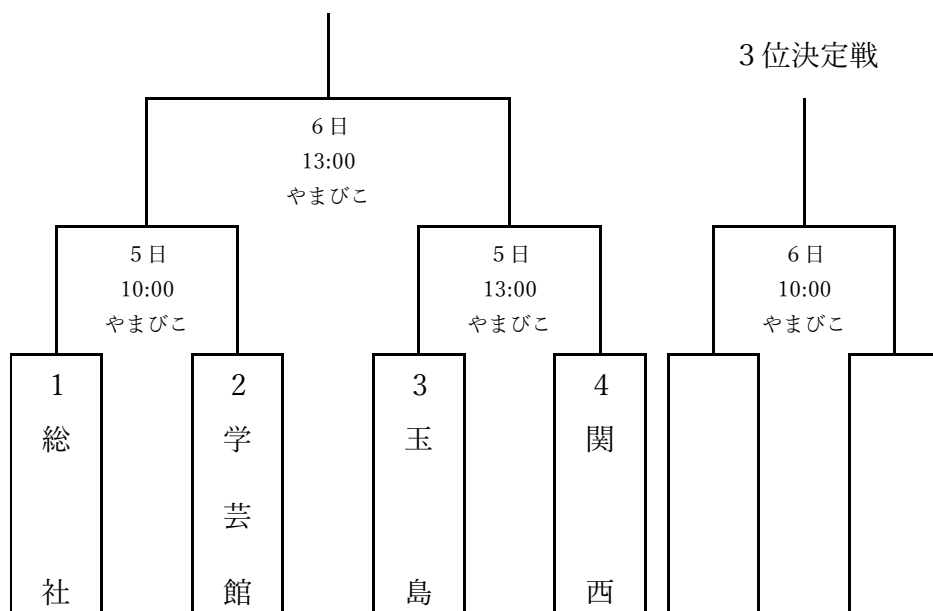

実 施 要 項

1. 名 称 第60回岡山県高等学校総合体育大会軟式野球競技
2. 主 催 岡山県高等学校体育連盟・岡山県教育委員会・山陽新聞社
3. 後 援 (財)岡山県体育協会
4. 期 日 2021年6月5日(土), 6(日)
雨天順延(予備日は6月7, 8日)
5. 会 場 真庭やまびこスタジアム
6. 出 場 校 4チーム(東部, 西部から各2校)
7. 試合方法 トーナメント方式(3位決定戦を行う)
(ただし, 1回戦は同地区の対戦は避ける。)
8. 試 合 球 岡山県高等学校野球連盟公認M号球(新規格のマルエス)
9. 試合規則 2021年度公認野球規則および本大会特別規則による。
10. 参加資格 2021年度日本高等学校野球連盟の大会参加資格に適合する者
11. 参加人員 責任教師1名・監督1名・選手20名以内・記録員1名以内
合計23名以内(記録員は女子も可)その他に補助員(シートノック補助とボールキーパー:女子も可)として3名の参加を認める。ただし, 服装は背番号のないユニフォームまたは体操服とする。
12. 大会委員 岡山県高等学校野球連盟理事及び代表運営委員
13. 審判委員 岡山県高等学校野球連盟審判委員
14. 表 彰 優勝校に賞状・優勝杯および楯, 準優勝校, 3位校に賞状を授与。優勝校には選手権岡山大会へのシード権を与える。
※ 表彰式は、感染状況によって中止する場合がある。
15. 申込方法 所定の参加申込書(選手資格証明書・選手健康証明書)を連絡場所にデータで提出(※5月14日(金)必着)
16. 開 始 式 新型コロナウイルス感染症予防のため実施しない。

17. 組合せ

若番（左側）が一塁側



(2021年4月25日に理事・代表運営委員による代理抽選で決定)

18. 連絡場所 岡山学芸館高等学校 大内 和幸

〒704-8502 岡山市東区西大寺上1丁目19-19

TEL. 086-942-3864

FAX. 086-943-8040

MAIL. obf_nanshiki@gakugeikan.ed.jp

- ## 19. その他
- (1) 選手・記録員の追加・変更は試合当日まで認める。ただし、変更選手の選手登録変更届が必要。
 - (2) 各学校とも必ず責任教師が引率し、大会中の全ての行動に対して責任を負うこと。
 - (3) 大会中、監督や責任教師が一時的に交代する場合も責任教師（野球部長）・監督変更届を提出する。
 - (4) 別紙の新型コロナウイルス感染症対策を遵守すること。

特別規則

1. 本大会は日本高等学校野球連盟公認の野球規則及び以下の特別規則を適用する。
2. 本大会の審判委員は原則として一回戦は3人制、決勝戦及び3位決定戦は4人制とする。
3. 両チームは試合開始予定時刻の1時間前に会場に到着し、メンバー表5部(複写用紙)を作成すること。主将は責任教師とともに、試合開始予定時刻の30分前にメンバー表を持参の上、大会本部へ行き先攻後攻を決めなければならない。
4. 降雨など天候状態によるコールドゲームは決勝戦も含め、7回終了とする。
得点差によるコールドゲームは5回以降10点差以上、7回以降7点差以上とし、決勝戦には適用しない。
5. 決勝戦を含む全試合で12回終了時に同点の場合は以下のタイブレークで勝敗を決定する。
☆両チームとも無死1・2で攻撃し、その得点で勝敗を決定する。
☆打順は12回終了時の打順を引き継ぐ。(次回以降も前インニング終了後からの継続打順)
☆この場合の2人の走者は、前項の先頭打者の前の者が1塁走者、1塁走者の前の打順の者が2塁走者となる。
☆選手の交代はかまわない。ただし、一度試合から退いた選手は出場できない。
☆タイブレークは勝敗が決するまで試合を続行する。但し、一人の投手が登板できる
インニング数については15インニング以内を限度とする。
☆決勝戦の延長回は15回までとし、15回終了時に同点の場合は翌日以降に再試合を行う。但し、再試合には上記のタイブレークを適用する。
6. 試合前のシートノックは7分間とする。ただし、大会運営上短縮または中止することがある。
7. 審判委員のルール適用に関する疑義の申し出は、主将・伝令または当該選手に限る。ただし審判委員が不必要と認めた場合はこれを拒否することがある。
8. 試合中、攻撃側選手に不慮の事故などが起き、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判委員が認めた時は、相手チームに事情を説明し、臨時の代走者を許可することができる。この代走者は試合に出場している選手に限られ、相手チームに指名権はない。臨時代走はその代走者が7外になるか、得点するか、またはインニングが終了するまで継続する。臨時代走者に替えて別の代走者を送ることはできる。この場合、負傷した選手に代走が起用されたことになり、負傷選手は以後出場できない。
代走者は投手を除いた選手のうち、(捕手は除かれた)
①打者が死球などで負傷した場合は、打撃の完了した直後の者。
②塁上の走者が負傷した場合は、その時の打者を除く打撃を完了した直後の者。
(注)=死球を受けたり、すべり込みなどでケガをした場合手当さえすれば再び出場できるが、手当に多少の時間がかかり、試合を一時中断しなければならないようなとき、前記の手続きをしてその走者のプレイを完了することができる。
③塁上にいる臨時代走者が次打者になった場合は、その臨時代走者に代えて打撃を完了した直後の者を新たな臨時代走者とする。
9. 試合の使用球は審判委員が不相当と認めたもの以外は替えない。
10. 打者および走者は打者用ヘルメットを、捕手はショートガード付きマスク・捕手用ヘルメットおよびプロテクター・レガース・カップを着用すること。また、捕手が防具を着ける間の代りの捕手およびブルペン捕手は必ずマスクを着用すること。
(プロテクター・レガースも着用することが望ましい)
11. バットは公認バットに限り、適否は審判委員の点検に基づく判断によるものとする。
(カーボン製バットは不可)
12. バットリング・鉄棒のグラウンドおよびタッグアウトへの持ち込みは禁止する。
13. 前の試合が予定の時刻より早く終了した場合は、支障のない範囲で引き続いて次の試合を行う。
14. 大会中の負傷または疾病に対して、主催者は応急手当を施す以外は責任を負わない。
15. 走塁コーチはヘルメットを着用すること。

注意事項

1. 試合中の攻守交代時は全力疾走すること。
2. 攻守交代の時、次打者および走塁コーチはミーティングに参加せず直ちに所定の位置につくこと。
3. 次打者は、自己のダッグアウト(ベンチ)側のウェイトングサークルで待つこと。投手が投手板に位置したならば、ファウルボールを避けることのできる体勢でプレイに注目しなければならない。
4. 選手は審判委員の判定に対して不満のような態度をとらないこと。相手の選手や審判委員などに対して野卑な言辞を使用するようなスポーツマンシップに反する行動は厳禁する。
5. ベンチ内での携帯電話の使用は監督・責任教師の指示用としてのみ2個以内認める。
又、ベンチ内での携帯電話・ラジオなどの使用は禁止する。
6. 手袋は使用しても構わない。ただし、色は白または黒一色とする。
※ 打者および走者は両手にはめてもよい。
※ 野手は守備時に受け手にはめてもよい。
※ スプレーの使用は手袋の磨耗が激しく、打者が優位になることも考えられるので禁止する。
7. 選手は規定の正しい服装を整えること。商標などアマチュアリズムを損なう恐れのあるものは除去すること。
8. 監督は選手と同じユニフォームを着用し、背番号はつけない。また選手と同色のシューズを使用すること。責任教師は平服(ワイシャツ・ノーネクタイ、連盟公認のポロシャツも可)を着用すること。記録員は制服または背番号のないユニフォームを着用する。補助員は背番号のないユニフォーム又は学校指定の体操服を着用すること。
9. サブロッカーは外野ノックを行うこととし、予めオーダーシートに記名しておくこと。服装は監督に準ずる。
10. 試合中、選手に指示を与える場合は、控え選手を伝令として手短かに用件を伝え、選手をベンチに呼ばないこと。
※タイムの回数は守備側、攻撃側ともに3回以内とする。(1回が30秒以内)ただし、延長戦に入った場合は、それ以前の回数には関係なく毎イニングに1回だけ許される。
11. 打者はバッターボックス内でベンチのサインを見ること。
12. 試合中に選手が負傷した場合、責任教師・監督は審判委員の要請があるまでグラウンドに出ないこと。
13. 試合前や試合中のイニングごとに監督からの指示を伝える円陣は認めるが、選手同士で密接な状態で掛け声をかける円陣は禁止する。
14. 試合中マウンドに集まるときはグラブを口に当てる。伝令はマスクを着用する。
15. 試合中は素手でのハイタッチや握手を控え、ボールを触った手で目・鼻・口を触らない。
16. 試合に出場していない選手・責任教師・監督・記録員は、ベンチ内ではマスクを着用する。